



雰囲気ガスリユースシステム

1. 目的 焼入炉から排気される排ガスを別の炉に再利用する
同一ポテンシャルの炉は、無条件に再利用
昇温時及び待機時は排ガスを利用

2. メリット 雰囲気ガス(メタノール)の削減
窒素ガスの削減
エンリッチガスの削減
CO2ガスの削減

3. コストメリット (22日/月稼働、処理が調質の場合)

メタノールの削減量	126,000 円/月
窒素ガスの削減量	17,000 円/月
エンリッチガスの削減	微量の為計算外 円/月
合計	143,000 円/月

年間の削減量

$$143,000 \text{ 円/月} \times 12 \text{ 月/年} = 1,716,000 \text{ 円/年}$$